

生徒指導だより

令和4年6月2日

市川市立第八中学校生徒指導部



体育祭、修学旅行も終わり間もなく梅雨の時期に入ります。室内で過ごすことが多くなるこの時期ですが、この機会に校舎内での過ごし方について、考えてください。また、部活動7月に控えている総体やコンクールにむけて自分の役割をしっかりと果たす時期となりました。

八中は3年前より「衣替え」は廃止しました。1年を通して気温や湿度を自分自身で考えながら冬服、夏服、どちらで登校しても構いません。ただし、校章やクラス章のつけかえは忘れずに行うようにしてください。今年度、10月末までは体操服登校も可能です。また、暑い時期になってきますが水筒の中身は水、お茶、スポーツドリンクが許可されています。ペットボトルでも構いませんが、その場合、学校に捨てることは禁止になっています。

規則、約束について！

もしも、この世の中に自分一人しかいないのであれば規則や約束はいりません。しかし、複数の人が存在した場合、その複数の人の間で決めごとが発生してきます。それが規則、約束と呼ばれるものです。何故、規則、約束が発生するのかを考えると、お互いの生活を行いやすくするための手段であるということが、頭の中に浮かんでくるのではないのでしょうか。

したがって、601名の人間が平日の朝から夕方まで集団生活する学校には、独自の規則や約束があってもおかしくありません。いや、なければならぬものであると思います。ここで皆さんに知っておいてほしいことを記します。

● 「人を縛るための規則、約束」ではなく、「人を守るための規則、約束」である。

新学年のスタートから2ヶ月が過ぎましたが、学校生活に慣れてきたぶん、規則や約束を守ろうという気持ちに少しだけ陰りが見えてきたように思います。自分自身の「わがまま」を押し通そうとして周囲とトラブルを起こしたり、授業中の私語、集中不足が目につき始めています。もちろんそのことが全員に見られるというわけではありませんが、緊張感が緩んできているということに間違いはないと思います。

上記にも記しましたが、君たちを守るための規則、約束なのだから、このことについてもう一度考えるとともに集団で生活するということを再度考える良い機会なのではないのでしょうか。

今回の便りを読んで、ほんの少しでも規則、約束について考えてくれる人が多くなれば、八中は更に良い集団となっていきます。みんなの「小さい力」を結集して八中は市川市内で一番良い学校、千葉県内で一番良い学校、君たちが大人になった時に自慢できる学校にしてみたいと思いませんか。そのためには、皆さんの協力が必要であることはいまでもありません。

生徒の皆さん、先生方、家庭、地域がともに助け合いながら頑張っていければと思っています。